

第39回東海村地域福祉計画推進会議 議 事 録

1. 日 時 平成28年1月26日（火） 午後2時～4時
2. 場 所 総合福祉センター「絆」会議室
3. 出席者
 - ・地域福祉計画推進会議委員
（富永委員長，小野寺委員，叶井委員，河野委員，井坂委員，野上委員，今橋委員，松井委員，相巢委員，須藤委員，大内委員）
 - ・アドバイザー 稲垣美加子先生（淑徳大学教授）
 - ・事務局 芳賀補佐，酒井主幹，小原澤主事

4. 結 果（要点）

（1）前回議事録の確認について（省略）

（2）政策会議の結果について

事務局より，以下の2点について報告した。

- a. 政策会議（1／19）において，第3次地域福祉計画の内容説明を行い，無事了承をいただいた
- b. 別途，村長にも説明を行い，了承をいただいた。また村長から「しっかり実行していってほしい」というお話があった。

（3）パブリックコメント及び地域福祉関係団体への説明について

事務局から，スケジュールや実施方法について説明後，以下の4点について協議・決定した。

- a. 委員は，自分が所属していない団体の説明に参加する。分担は事務局に一任する。
- b. 稲垣先生にも，出席できる場合には出席いただく。
- c. 計画の内容説明は事務局が行う。
- d. パブリックコメントや地域福祉関係団体への説明で出てきた意見の中で，計画を見直すような大きな意見が出てきたときには，会議の中で検討する。

（4）第2次地域福祉計画・平成27年度評価の方法について

事務局から評価方法について説明した。

（5）その他

- 2月会議は2／16（火）9：30から，「絆」会議室で行う。
- 3月会議は3／11（金）9：30から，「絆」会議室で行う。

5. 結 果（詳細）

（1）開 会

（2）委員長挨拶

皆さん新年おめでとうございます。今年1回目の会議で、正月明けお忙しい中、出席いただき感謝する。つくづく時が過ぎるのが早いと感じる。

第3次計画は素案が完成し、役場で行政内の手続きが進められた。今後はパブリックコメントを行う。また、地域福祉関係団体への内容説明を皆で協力しながらやらなくてはいけない。他にも本年度の事業評価がある。出来るだけスムーズに進行したいのでよろしく願いたい。

（3）稲垣先生挨拶

本年もよろしく願います。先ほど連絡があり、社会福祉分野の研究者であり、私の恩師でもある中村優一先生が亡くなったことを知ったが、亡くなったことは誰にも知らされず、すでに葬儀も終わっていた。近親者のみで行う家族葬も尊重すべきだが、生前繋がりがあった人々が、故人にお別れをする機会を設けてほしかったという思いがある。葬儀に人が集まるのは、故人が生きた証でもあるし、福祉における温かな「最後の支援」でもあるのではないかと。

この第3次地域福祉計画は、作って終わりではなく、これを動かしながら、温かな社会をつくっていったらと思う。今日もご指導よろしく願いたい。

○配布資料の確認

（4）議 事

①前回議事録の確認について（内容は省略）

②政策会議の結果について

事務局より、以下の2点について報告した。

- a. 政策会議（1 / 19）において、計画の内容説明を行い、無事了承をいただいた
- b. 別途、村長にも説明を行い、了承をいただいた。また村長から「しっかり実行していってもらいたい」というお話があった。

③パブリックコメント及び地域福祉関係団体への説明について

事務局より、以下の2点について説明した。

- a. パブリックコメントのスケジュール及び実施方法について（配布資料で説明）
- b. 地域福祉関係団体への説明スケジュールについて（配布資料で説明）前回会議で、「委員も説明会に参加する」ということになっていたため、今後はご協力をお願いしたい。

事務局の説明を踏まえ、以下の4点について協議・決定した。

- a. 委員は、自分が所属していない団体の説明に参加する。分担は事務局に一任する。
- b. 稲垣先生にも、出席できる場合には出席いただく。
- c. 計画の内容説明は事務局が行う。説明の流れや配分時間については、事務局で調整する。

- d. パブリックコメントや地域福祉関係団体への説明で出てきた意見の中で、計画を見直すような大きな意見や、法制度上・コンプライアンス上の問題、人権侵害等の問題が出てきたときには、会議の中で検討する。

【ご意見】

- 「地域福祉計画は、住民の代表が参加して作った」ことを知ってもらうべきである。また計画の内容を住民にいか知ってもらうかが大事で、その機会が説明会だが、ただの「報告」では意味がない（委員長）。
- 計画の中には民生委員が関わっている施策が多いので、しっかりと知ってもらいたい（委員）。
- パブリックコメントは、どうしても個人的な意見が出がちだが、事務局からは何らかの形で回答はしてもらいたい（委員）。
→いただいた意見は匿名で公表のうえ、回答する（事務局）
- 3月にも団体説明があり、出た意見を反映させるなども作業が出てきたりすると、3月末までに完成するかが心配である（委員）。

④第2次地域福祉計画・平成27年度評価の方法について

事務局より、評価方法について下記のとおり説明した。

- ・昨年度行った評価の方法を継承し、まず、行政が具体的な施策96項目・施策の方向性25項目について評価を行い、その結果を会議で報告する。それから委員の皆様には施策の方向性25項目のレベルで住民評価を行っていただく。
- ・27年度評価結果は、直接第3次計画には反映できるものではないが、28年度以降の評価の参考にしていきたいので、第3次計画の評価方法で新たに取り入れた「3つの視点」を評価に取り入れていきたい。
- ・評価シートは、昨年度のシートを加工して活用する。
- ・行政評価の実施スケジュールは未定だが、行政評価・住民評価を総合した最終的な評価は、4月以降になる予定である。

⑤その他（次回会議日程等について）

- 2月会議は2/16（火）9：30から、「絆」会議室で行う。
- 3月会議は3/11（金）9：30から、「絆」会議室で行う。
- 住民座談会のスケジュールを民児協2月定例会で資料提供することになった。

【ご意見】

- ・P56～58「第2部基本構想」について、青字の部分が読みにくいので、黒字にしてほしい。
- ・P113「ボランティア団体の写真」について、画像が粗いので、調整もしくは差替えてほしい。
- ・P119～121「委員のコメント欄」について、写真が少し縦長になっているので、修正してほしい。
- ・パブリックコメントについて、公表場所に図書館や駅、村内事業所も追加してはどうか。
- ・パブリックコメントの意見提出用紙の中に一部誤りがある。

(5) 閉 会